

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯－10 体育施設管理運営事業					ザイムスコード及び個別事業名		
	□支 援 部 門					204	体育施設運営事業	
主管課	スポーツ課				関連課	205	体育施設管理事業	
分野名	スポーツ・レクリエーション					917	体育施設運営事業	
目標 (目標値)	スポーツ活動の普及を図ります。 市民のスポーツ実施率を60%にする。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考				
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯					
	利用者数	463,489人	460,690人					
運営資源 状 況	決算値	154,138千円	150,998千円					
	(国・県)							
	(負担金等)	18,689千円	14,737千円					
	(一般財源)	135,449千円	136,261千円					
	人員配置数	4.1人	4.4人					
	人 件 費	36,659千円	38,353千円					
	協 働 の パートナー							
事務事業 運営経費	総事業費	190,797千円	189,351千円					
	市民1人当 りの経費	1,080円	1,073千円					
	対象者1人 当りの経費	412円	411円					
ベンチマ ーク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名							
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1) 施設利用者のニーズに対応できる活動施設の充実。 (2) 施設の老朽化。						
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1) 見田記念体育館に鏡を設置するとともに、これまで設置していなかった体育室にエアコンを設置した						
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) (1) 施設利用者のニーズに対応できる活動施設の充実。 (2) 施設の老朽化。						
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 既存施設については、修繕計画の検討を図るとともに、指定管理者制度を導入したスポーツ施設の 管理運営についてモニタリングを充実させ、適切な管理運営を図る。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	スポーツ施設の数、規模ともに不足している状況であり、また、現存の施設の老朽化が進んでいる施設が多いことから、早急な施設整備が必要であり、施設利用者のニーズに対応していく。			評価結果	改善の必要性	引き続き施設の有効な管理運営を図っていく必要がある。	
A	有				A	有		
課長名		小池 忠紀			部名・部長名		生涯学習部長 植松 芳子	